

おいでよ!

華扇ちゃん
牧場



18禁
成人向け



やあやあ！
あんたがバイト君だね？
いやー助かるよ！男の
人手が足りなくてさー！

「牛乳」の生産が全然
追いつかなくて
誰の手でも借りたかった
トコロなんだよねー！

（じつり）

ニカー♪



つなぎのサイズは大丈夫？
まま、じゃあまず
牧場を案内するよ！

実は幻想郷に「牛乳」が
普及し始めたのは
ここ最近である。

おお
これが……

幻想郷は酪農ができるほど
広くない環境であり、
庶民が乳製品を口にする
機会は稀であった。

ちゅーぽ
クゥ。



そんな中、河童たちが
この幻想郷で「牛乳」の販売を
初めて話題を呼んでいるのである。

え？いきなり酪農を
始めた理由？
んふふ♪よく聞いてくれました♪

今まで幻想郷が狭くて
牛なんて大きな動物飼えなかった
訳なんだけど……じゃあどうすれば
幻想郷で酪農できると思う？

ガ
ラ
ッ



そもそも牛が巨体だから、飼育が難しいんだよ！

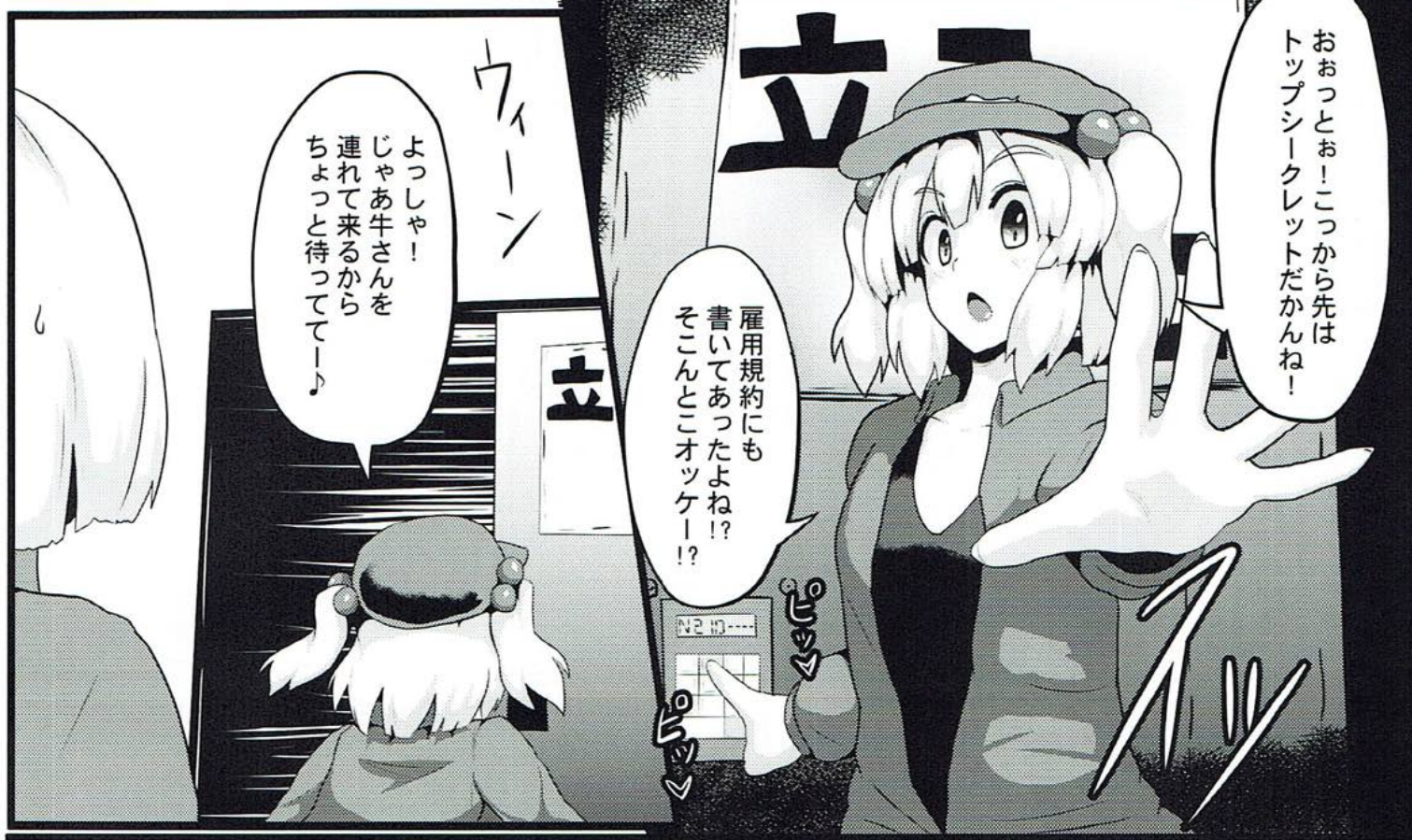
エサは山ほど必要…放牧なんて論外だね。

Holstein!!

私達のカじゃ無理やり土地を借りる事もできないし、何よりどっからかクレームが来ておじゃんだろう。

じゃあどうするって考えた結果…

牛の方に小さくなってもらう事にしたんだ！



おおっとお！こっから先はトップシークレットだかんね！

雇用規約にも書いてあったよね!? そこんとこオツケー!!

よっしゃ！じゃあ牛さんを連れて来るからちよっと待っててー♪



はいはい こっちはこっち…

この子はとってもおとなしいからきつとすぐ慣れるよ。

カッカッカッ...

ほーらしい子、
いい子。

んおろ？カラ...

じゃあまず乳搾り教えるね。
専用の小屋に牛を誘導して...

大丈夫、中身は牛だから。
こっちの言葉もやんわりとしか
わかんないよ。

暴れたりした時に
ケガしないようにね。

んもろ。

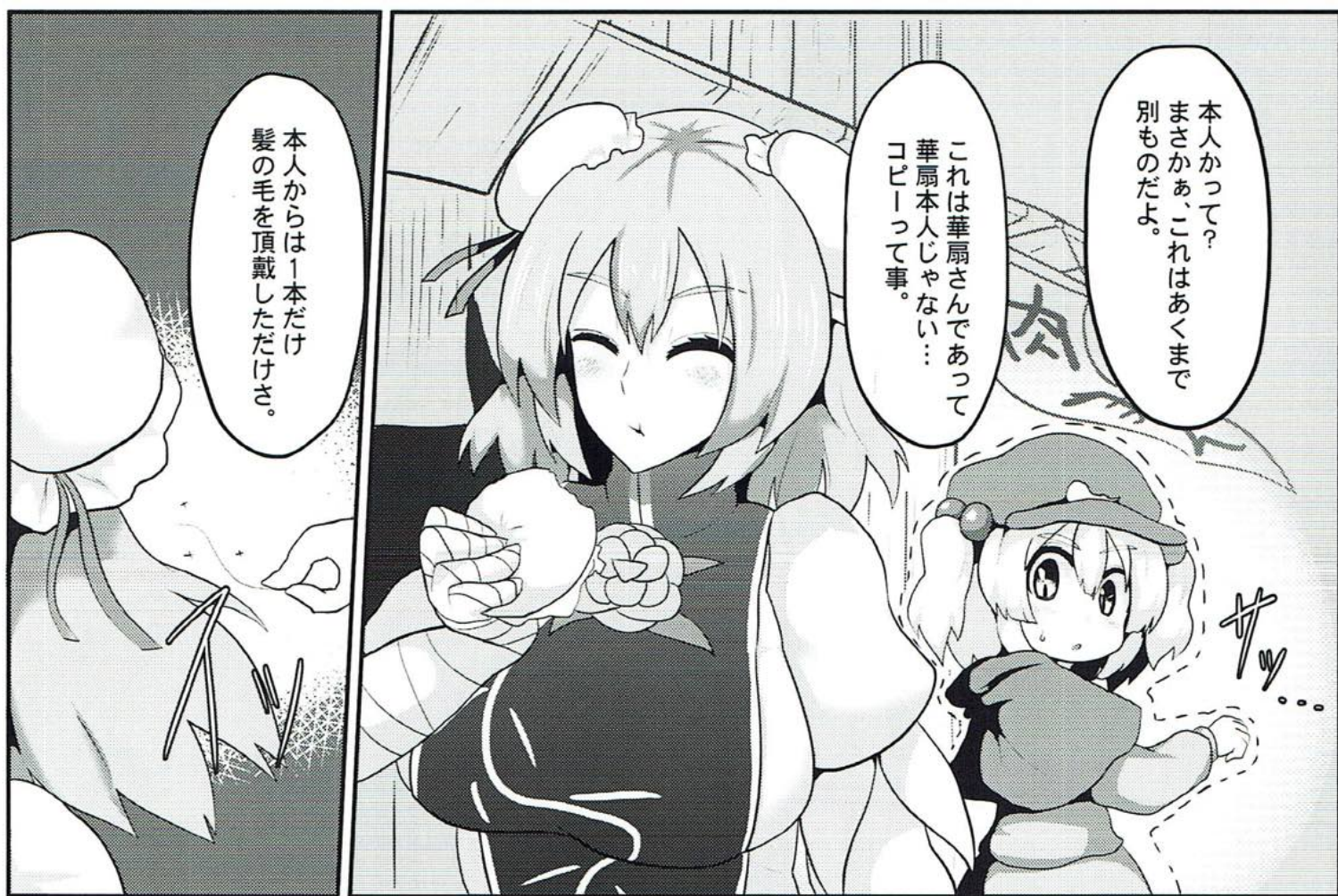
この子はとっても
おとなしいからまず大丈夫だけど。

それじゃ改めて...
これが我らが農場の乳牛...

かせんちゃんだ！

くわ

たまに里にいる
仙人様じゃないかって？
あつ知ってたのか。





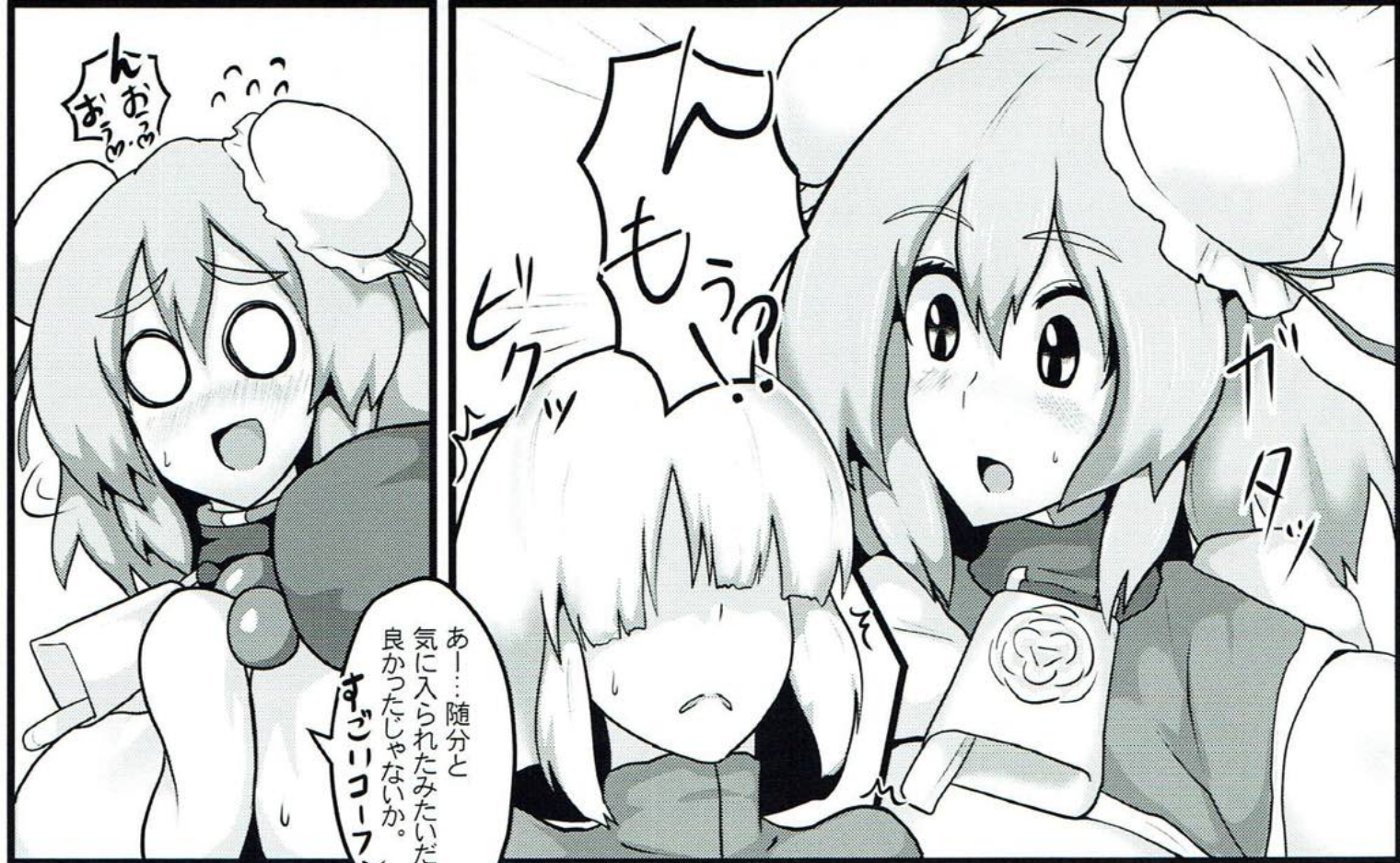


まず乳房全体を
もみほぐして……
母乳を巡らせてあげるんだ。

それから乳首も
同じ様にね。



全体が張ってきたら
準備できてるから
バケツを狙って……



んおっ
あー…随分と
気に入られたみたいだね。
良かったじゃないか。
すっごいコソッ



んじゃ続けるよ。
バケツをしっかりと狙って…
乳首をこんな感じで
掌に収めるの。

あつ、そっちのおっぱいも
バケツに乗せておいて。

んじゃ、よく見ててね…

んじゃ
きゅ



搾り終わったら
手を離して…

んお…

こうして人差し指から
順番に強く握って…!



ギュッ!!

じんわり…

ど

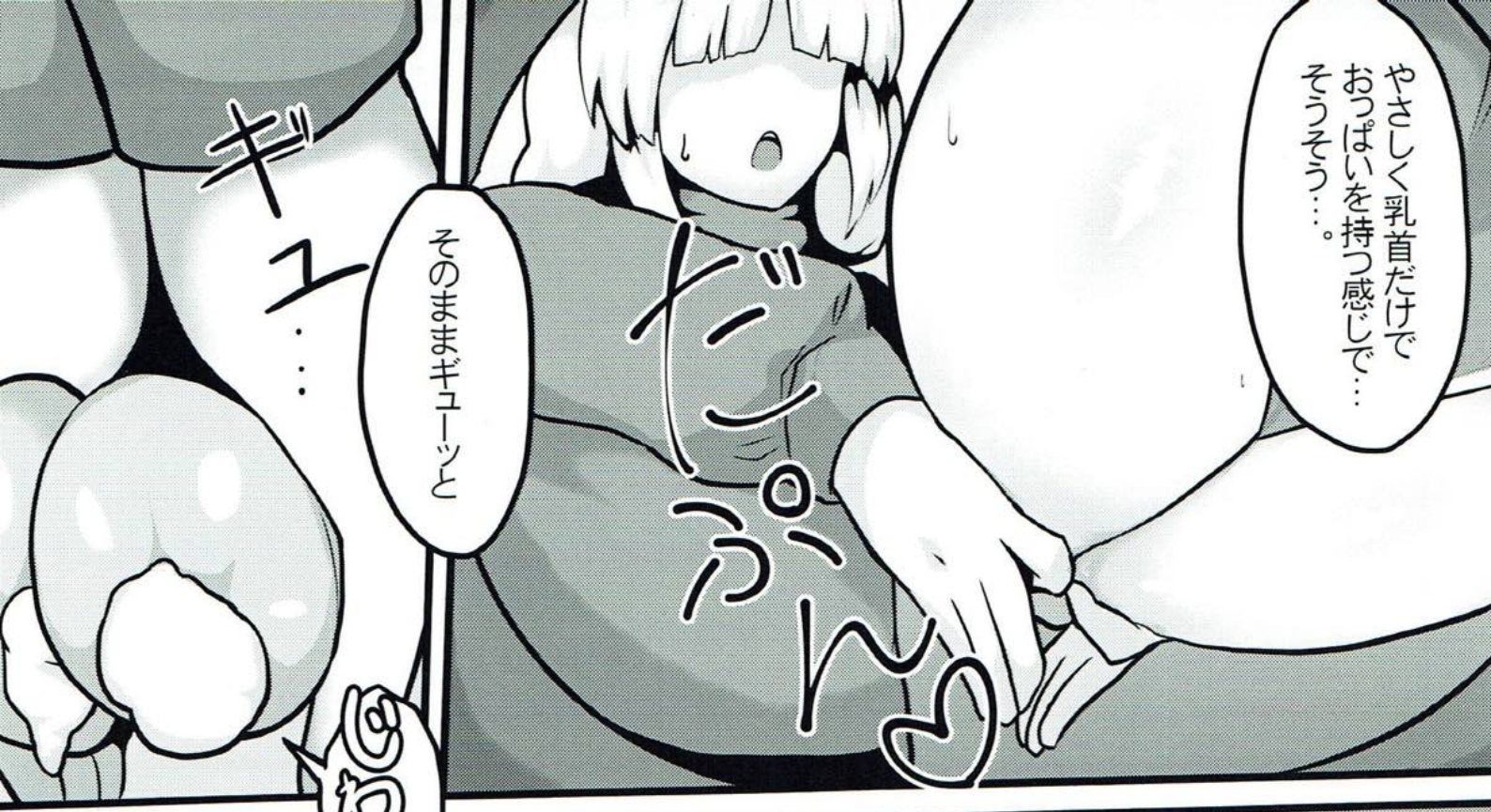
またおっぱいに母乳が
溜まってくるから
その繰り返しだね。

ギクッ



まあとにかく物は試し、
とにかくやってみようか？

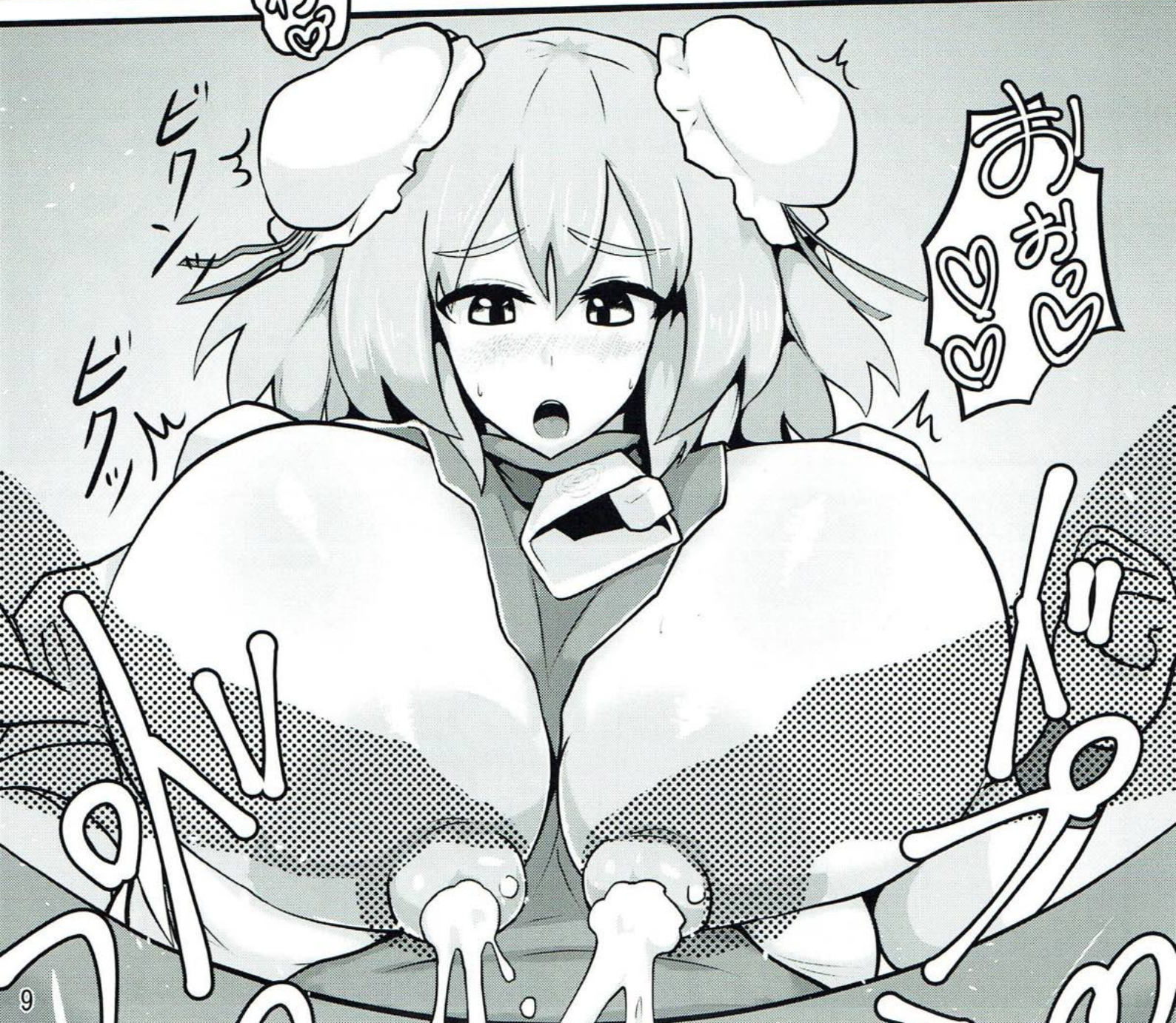
これを両手で母乳を
搾ると効率がいいんだ。



やさしく乳首だけで
おっぱいを持つ感じで...
そっすり...

そのおっぱい...

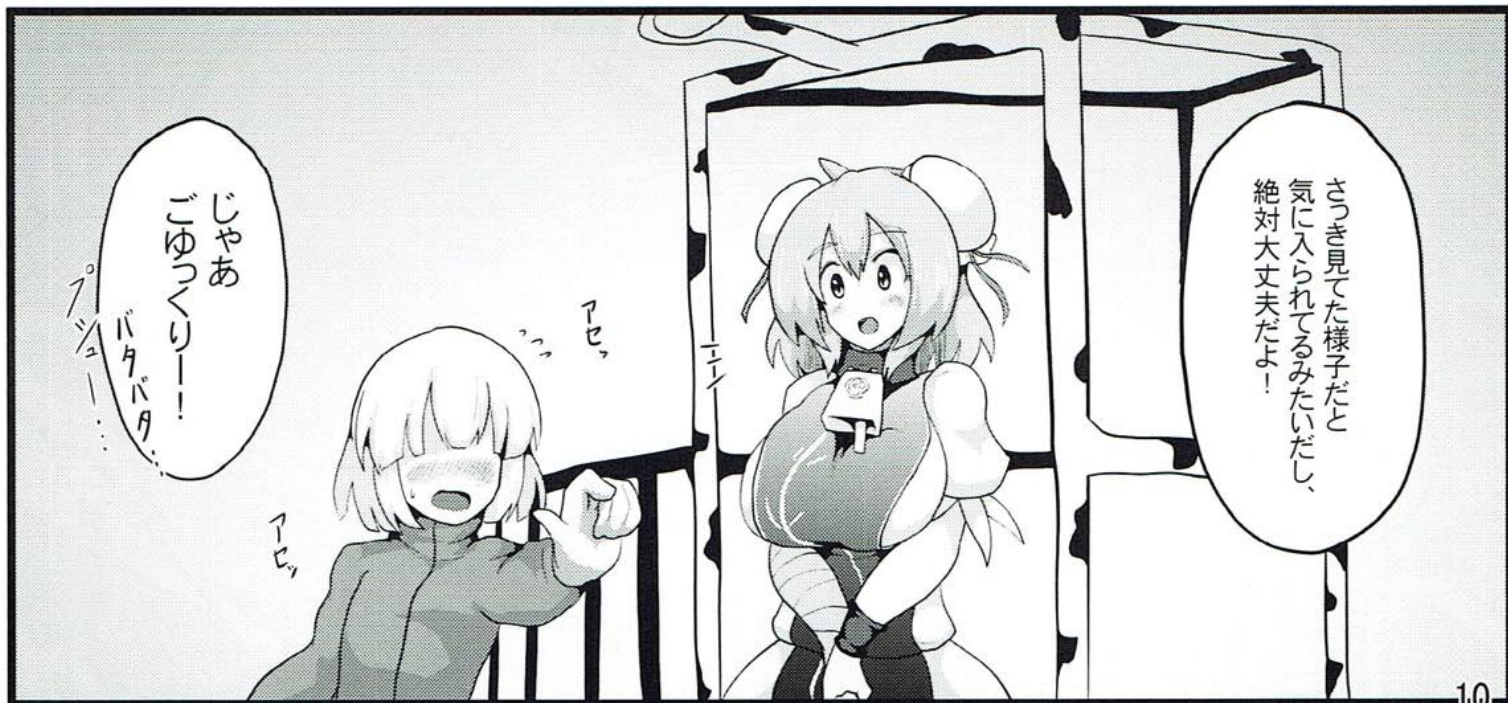
ぽん
わん



おっ
おっ

ビクッ

ビクッ





「かせんちゃんって
中身はほとんど牛なんだけど
性欲も結構とあるみたいで…」



「しかも理性が弱くなったせいか結構コレが辛そうで…
見ててかわいそうなんだよ。」



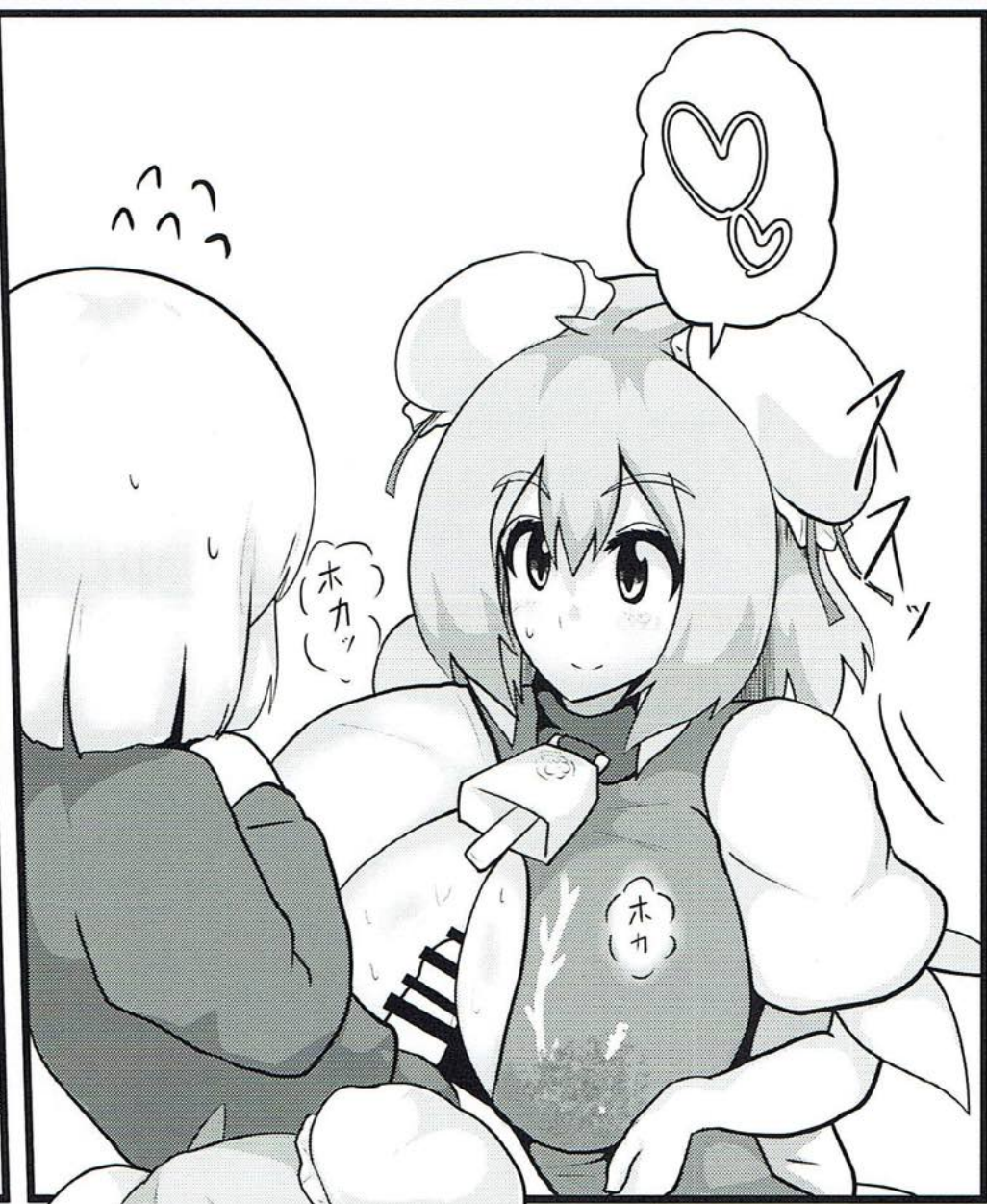
「だから、かせんちゃんの好きなようにやらせてやってくれないかい？」

「多分、大丈夫だから！」





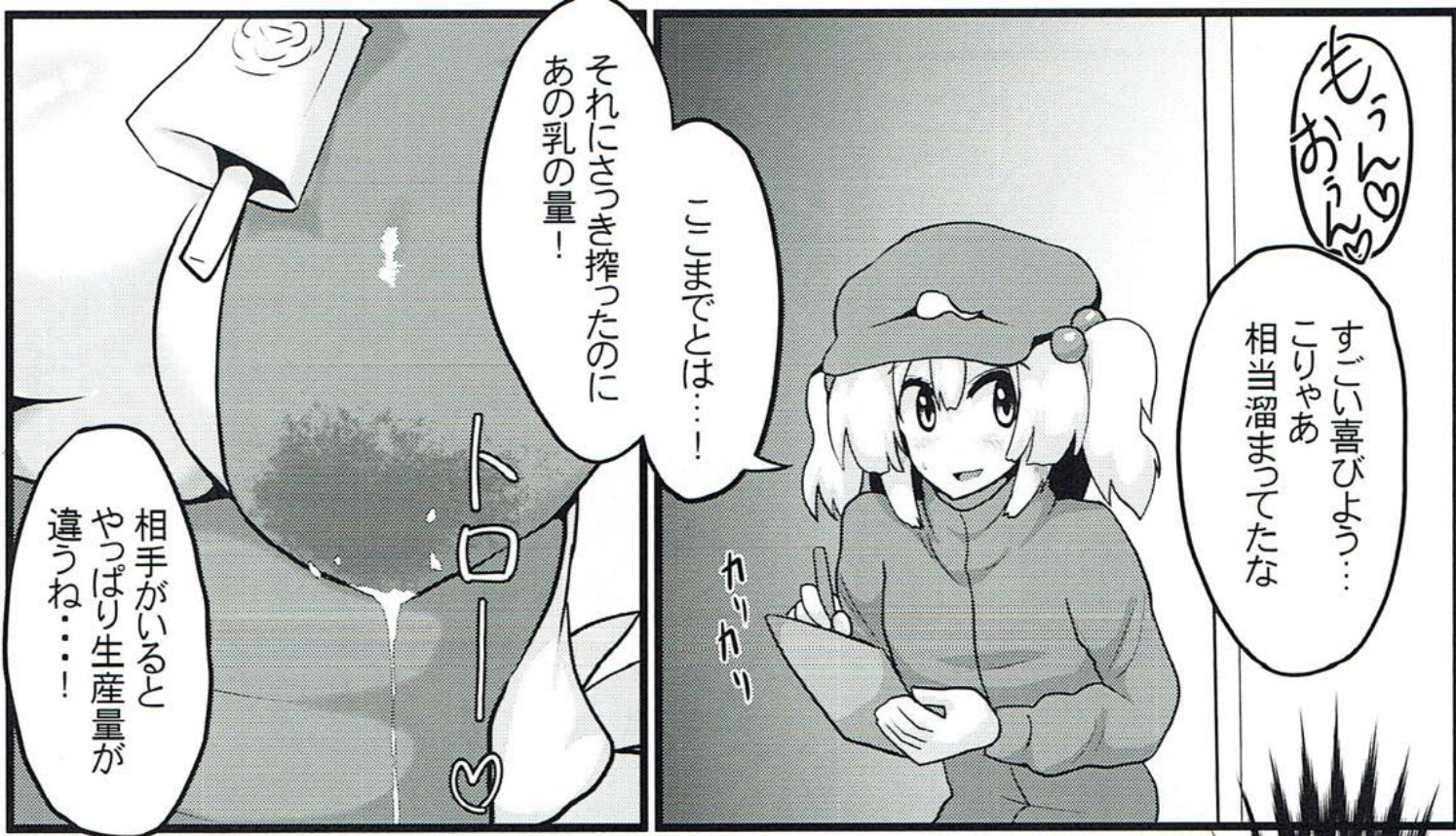






ここまで積極的に発情する
なんて予想外だ…!!

それにしても…



もっとうん
おっうん

すごい喜びよう…
こりゃあ
相当溜まってるな

ーうまどんは…！

それにさっき搾ったのに
あの乳の量！

カッカン

相手がいると
やっぱり生産量が
違うね…！



こりゃ本格的に
仕込めばもつとすごいのかも！！

じゃあこれから
乳搾りと仕込み
をしようよ。

ああ、今回は
乳搾りは試しに機械
使うから安心してね。

あんたは仕込みに
集中してね♪



詳しい事は
そのメモに書いておいたから
あつ中入ってから見てね。



しっかりと
仕込んであげてね！
ごめ〜ん！

にとりの伝言…
「さてさてバイト君も慣れて来た頃だし
とても重要な「仕込み」をやしてもらいます。」

「まあなんてしたあない
ちよーつとばかり
上級のスキンシップを
やればいい。」

「お前さんとかせんちゃんの
世話をするようになってから
お乳の出がすくなく良くなったんだ。」

「そこで、もつと二人が
仲良くなればもつとお乳が
出るんじゃないかと思ってるね。」

「かせんちゃんに
しっかりしつぽり
たっぷり…」

お前さんの種を
付けてやって欲しいんだ。
要は種付けだね♪」

さすがに
少し恥ずかしい。

ふるんっ♡

「最近なんか牛の尻尾まで生えて来ちゃって、アンタをずーっと見てるしさ。」

♂
♀
♡
♡

ぽりぽり

もじ

もじ

「どう見てもアンタの子供を孕みたがってるんだよね。」

「今までも乳が出たけど、本当に妊娠すれば、もっと出そうだろうか？」

「もう向こうはいつでも準備万端みたいだし、

クワイクワイ♡

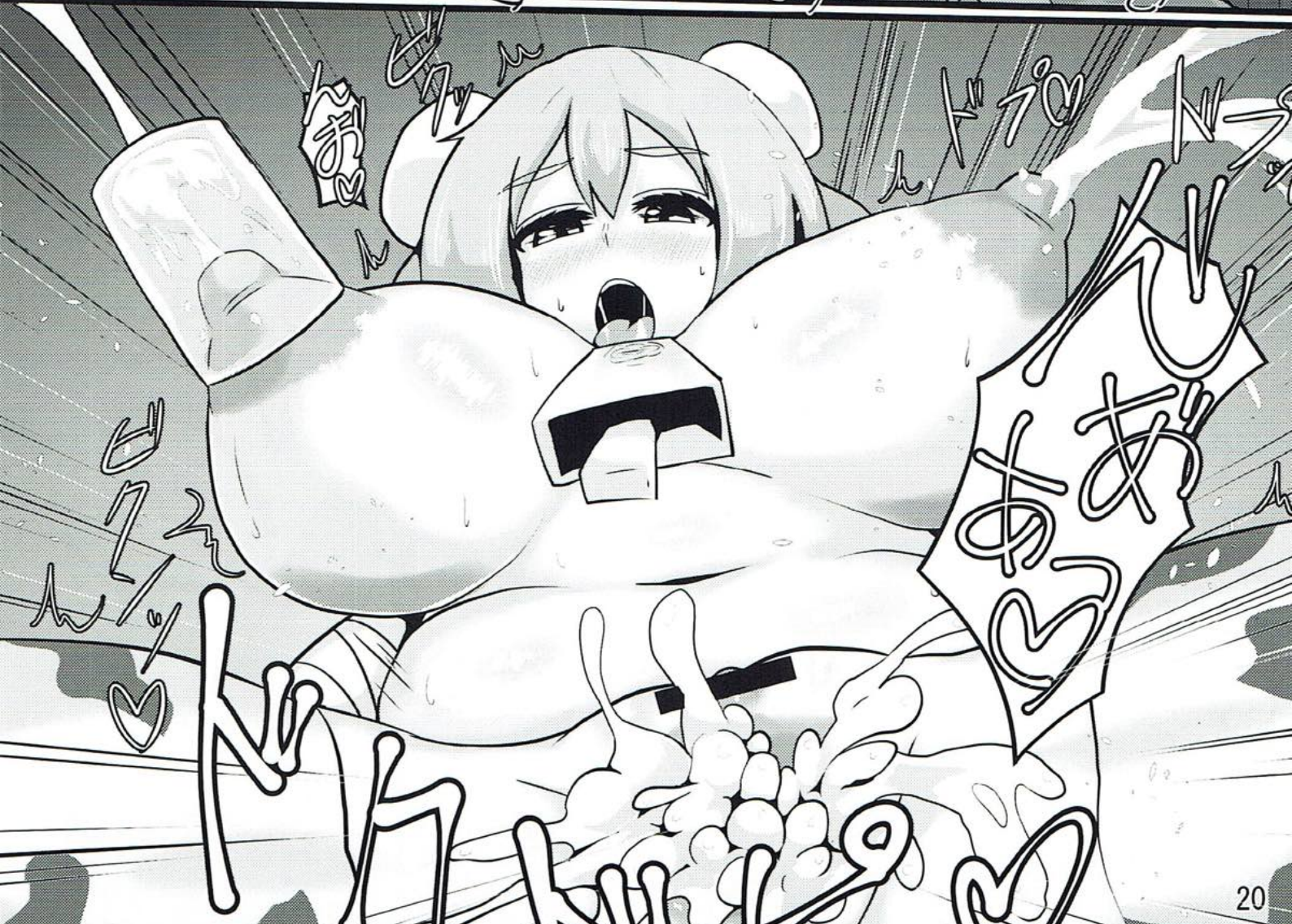
ん♡♡♡

人助け…いや牛助けだと思って楽しんでくれ♪」

アラ♡

ポロ





数時間後…

おい…
生きてるかって
乳くまじ!!?

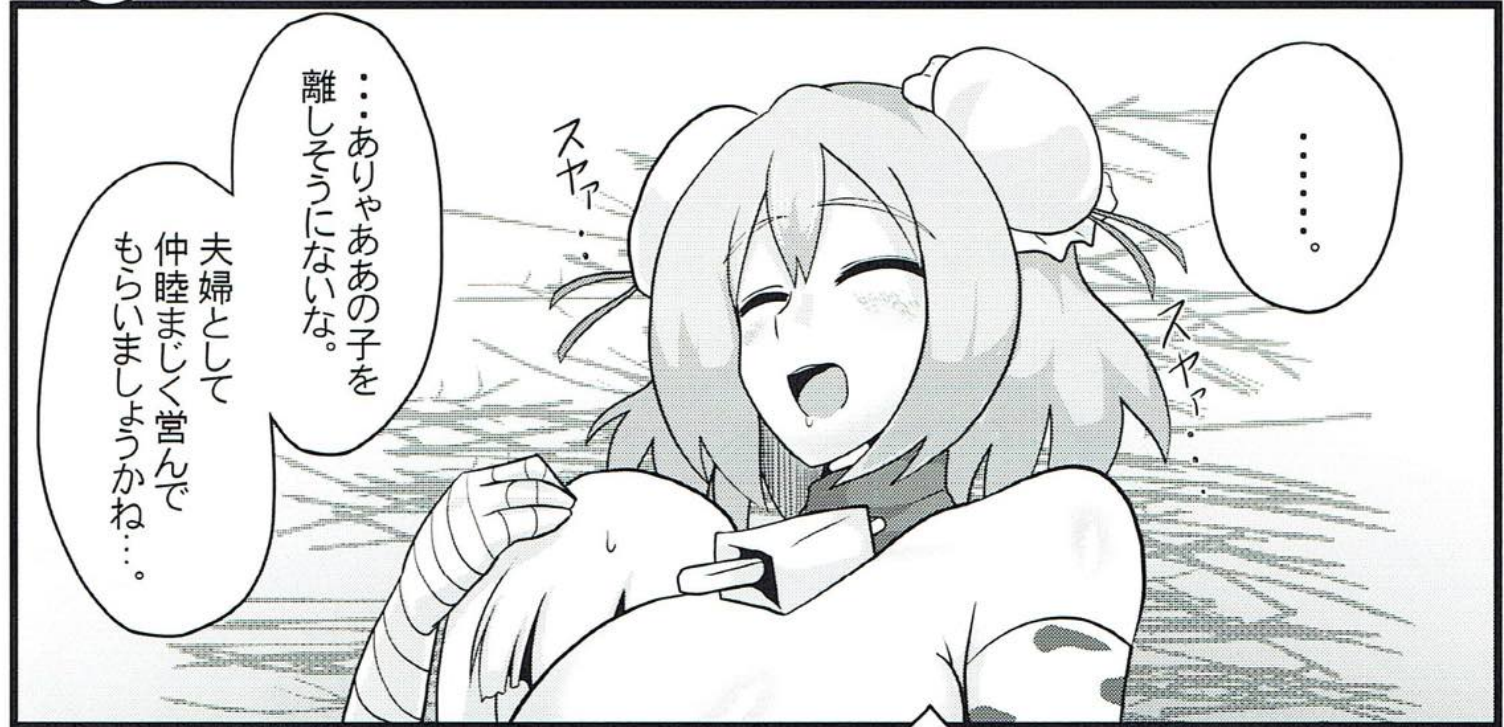
あっ!? 搾乳機
抜けちゃったの!?

ちゅぽん♡

オイオイオイ…
どんだけ激しかったんだ
君たち…

まあしっかり
種付けできたようで
何よりなんだが。

生きてんのか
マイィィ



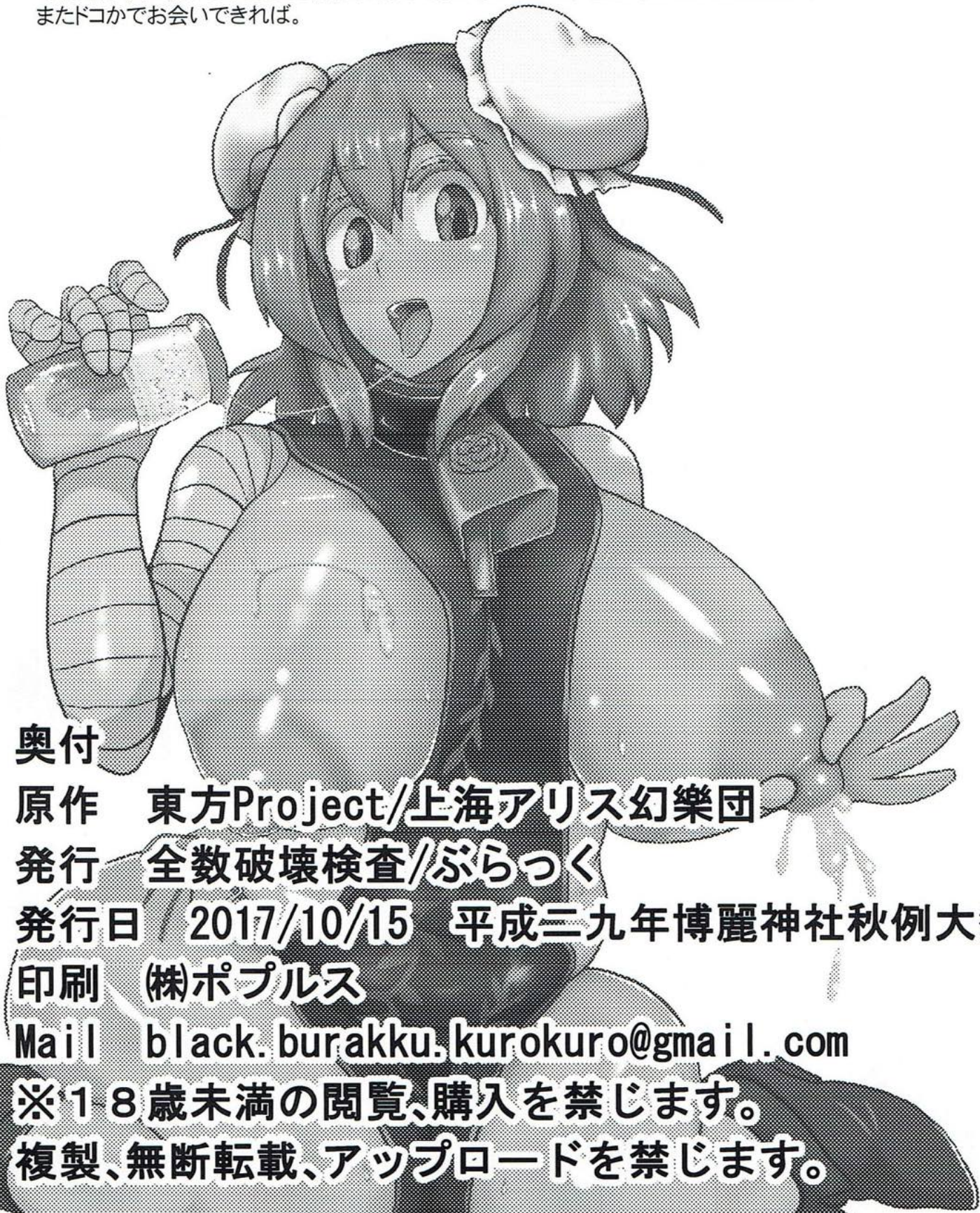


あとがき

どうもお世話になっております。ぶらっくです。
今年北海道旅行に行きまして、牧場見学をしてきたんですね。
それを体験してなんかぶっ飛んだの描きたいなと思って今回の本になりましたとさ。

当初はにとりの牧場経営を怪しく思った華扇ちゃんが怪しく思って調査してみたら、
なんやかんやあって牛さんとして調教されちゃう…みたいな構想だったんですが、
どうしてもちょっとだけ悲壮感が出ちゃうので、楽しくえっちな作品を愛するワタクシは
今回のようなゆるーい構成にしましたとさ。是非もないよね。

それでは手に取ってくださった皆様、ありがとうございました。感想等ありましたら是非。
またドコかでお会いできれば。



奥付

原作 東方Project/上海アリス幻楽団

発行 全数破壊検査/ぶらっく

発行日 2017/10/15 平成二九年博麗神社秋例大祭

印刷 (株)ポプルス

Mail black.burakku.kurokuro@gmail.com

※18歳未満の閲覧、購入を禁じます。

複製、無断転載、アップロードを禁じます。



全数破壊検査